

様式 第 2-1-64 号

64 特発性好酸球增多症候群 臨床調査個人票

(好酸球性消化管疾患、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症及び好酸球性副鼻腔炎を除く。)

ふりがな			性別		生年月日		
氏名							
住所	〒 _____ _____ 電話 (____) _____			出生都道府県		発病時在住都道府県	
発病年月			初診年月日			保険種別	
身体障害者手帳	1.あり(等級 級) 2.なし		介護認定	1.要介護(要介護度 _____) 2.要支援 3.なし			
生活状況	社会活動(1.就労 2.就学 3.家事労働 4.在宅療養 5.入院 6.入所 7.その他(____)) 日常生活(1.正常 2.やや不自由であるが独力で可能 3.制限があり部分介助 4.全面介助)						
家族歴	1.あり 2.なし 3.不明 ありの場合(続柄: _____)		受診状況(最近1年)	1.主に入院 2.入院と通院半々 3.主に通院(____回/____ヶ月) 4.往診あり 5.入院なし 6.その他(____)			

現状及び所見(該当するところに○または数値等を記入して下さい。)

1. 現在の症状・病歴(「ある」ものに○をつけてください)

心雑音、不整脈、心不全、狭心症、血栓症、呼吸困難、皮疹、血管性浮腫、下痢、腹痛、吸収不良、意識障害、片麻痺、四肢末梢の知覚鈍麻、蛋白尿、血尿、膿尿、筋痛、筋力低下、関節痛
その他(_____)

2. 検査所見(検査年月日: _____年 _____月 _____日)

- (1) 白血球数 _____ /mm³
芽球 _____ %
未熟顆粒球 _____ %
成熟好中球 _____ %
成熟好酸球 _____ %
リンパ球 _____ %
単球 _____ %
- (2) 赤血球数 _____ /mm³
- (3) 血小板数 _____ /mm³
- (4) 血沈値の亢進 1. ある 2. ない
- (5) 血清のCRP 1.陽性 2. 陰性
- (6) IgE値の上昇 1. ある 2. ない
- (7) 臓器障害を示す検査所見(部位及び診断根拠を記入して下さい)

3. 除外疾患

(1) アレルギー性疾患 気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、薬物アレルギーなど	1. 除外できる 2. 除外できない
(2) 感染症 寄生虫、原虫、細菌(猩紅熱など)、真菌、クラミジアなど	1. 除外できる 2. 除外できない
(3) 皮膚疾患 湿疹、乾癬、Sezary症候群など	1. 除外できる 2. 除外できない
(4) 膠原病 結節性動脈周囲炎、Wegener肉芽腫、好酸球性筋膜炎など	1. 除外できる 2. 除外できない
(5) 悪性腫瘍 ホジキン病、悪性リンパ腫、急性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、癌の全身転移など	1. 除外できる 2. 除外できない
(6) 免疫不全症 Wiskott-Aldrich症候群など	1. 除外できる 2. 除外できない
(7) その他 血液透析患者・アジソン病など	1. 除外できる 2. 除外できない

医師の意見欄							
医療機関名							
医療機関所在地				電話番号	(____) _____		
医師の氏名				記載年月日	年	月	日

※裏面の認定基準を御確認ください。

事務処理欄(ここには記入しないでください。)

受給者番号								審査	入力
-------	--	--	--	--	--	--	--	----	----

64. 特発性好酸球増多症候群（好酸球性消化管疾患、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症及び好酸球性副鼻腔炎を除く。）

<認定基準>

1 概念

末梢血好酸球数が $1,500/\text{mm}^3$ 以上と高度な増加が持続して認められる場合を、好酸球増多症としている。そのなかで、既知の原因疾患または基礎疾患がなく、心、肺などの臓器障害を伴う場合を、特発性好酸球増多症候群と呼ぶ。

2 主要症状

- (1) 全身症状（発熱、全身倦怠感、体重減少など）
- (2) 心血管症状（心雑音、不整脈、心不全、狭心症、血栓症など）
- (3) 呼吸器症状（咳嗽、呼吸困難など）
- (4) 皮膚症状（紅斑などの皮疹、血管性浮腫など）
- (5) 消化器症状（下痢、吸収不良）
- (6) 精神神経症状（幻覚、錯乱、片麻痺、四肢末梢の知覚鈍麻など）
- (7) 腎症状（蛋白尿、血尿、膿尿など）
- (8) 肝腫、脾腫、リンパ節腫
- (9) 筋痛、筋力低下、関節痛など

3 検査所見

- (1) 末梢血好酸球増多（ $1,500/\text{mm}^3$ 以上、または白血球数 $10,000/\text{mm}^3$ 以上且つ好酸球15%以上）
- (2) 白血球増多
- (3) 血沈値亢進、血清CRP陽性、IgE値上昇
- (4) その他各臓器障害を示す所見

4 組織所見

全身に皮膚、筋肉、肺、心、肝、脾、腎、リンパ節、関節滑膜に間質炎として浸出性変化並びにリンパ球、形質細胞及び組織球を混ざる。好酸球主体の細胞浸潤、結合組織増生、肉芽腫性変化、細小血管変化を認める。

5 除外疾患

- (1) アレルギー性疾患（気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、薬物アレルギーなど）
- (2) 感染症（寄生虫、原虫、細菌（猩紅熱など）、真菌、クラミジアなど）
- (3) 皮膚疾患（湿疹、乾癬、Sezary症候群など）
- (4) 膠原病（結節性動脈周囲炎、Wegener肉芽腫症、好酸球性筋膜炎など）
- (5) 悪性腫瘍（ホジキン病、悪性リンパ腫、急性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、赤血球、癌の全身転移など）
- (6) 免疫不全症（Wiskott-Aldrich症候群など）
- (7) その他（血液透析後、アジソン病など）